

春の注目講座



大津会場

江戸時代、近江の街道をゆく

京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授 水本邦彦



長浜会場

祭りに隠された7つのエピソード

長浜市曳山博物館館長 中島誠一



草津会場

北近江の歴史と文化を探る・浅井郡編

長浜市長浜城歴史博物館館長 太田浩司 他



草津会場

伊藤若冲と18世紀の京都画壇

大阪大学大学院教授 奥平俊六



草津会場

徳川政権十五代ー徳川社会と日本の近代化ー

国際日本文化研究センター名誉教授 笠谷和比古



草津会場

植物たちが魅せる世界

甲南大学特別客員教授 田中 修



KEIBUN文化講座特集 Enjoy!+α Culture and Study

ほんの少しの好奇心と最初の一步を踏み出す勇気ー扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

CONTENTS

Enjoy!+α KEIBUN文化講座特集 知性と感性を磨く! 春一番のステージへ 01
Key Point 注目講座の講師に聞く 京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授 水本邦彦 長浜市曳山博物館館長 中島誠一 長浜市長浜城歴史博物館館長 太田浩司 他 大阪大学大学院教授 奥平俊六 国際日本文化研究センター名誉教授 笠谷和比古 甲南大学特別客員教授 田中修
WALK ON 伝説と歴史の舞台を歩く 在原 高島市 07
KEIBUN友の会会員特典のご案内 イベント/シネマ/アート/スポーツ/ ゴルフ/旅行/レジャー/健康/ カルチャー/グルメ 08
プレゼント/Reader's Letters 25

11月にお送りさせていただきました「KEIBUN友の会」のサービス内容見直しに伴い、「KEIBUN友の会会則」を一部変更させていただきます。詳しくは、ホームページをご覧くださいませようよろしくお願い申し上げます。

(変更後) 平成29年1月1日改定

第5条(会費) 本会員の年会費は無料とします。 第6条(入会申込) 会員の新たな入会申込は受け付けておりません。

※会員の新規入会は平成28年11月末をもって中止しております。



今月の表紙

あなたはわかりますか? 謎 解き×世界遺産

日本のでっぺんにある 火口は天空の聖地!?



富士山ー信仰の対象と芸術の源泉 (日本・2013年登録)

白雪化粧した富士山の火口。遠くから眺める優美な趣とはまた違って、険しく厳かな雰囲気漂う。古くから信仰の対象とされ、火口壁の周囲のいくつかの峰を仏教の曼荼羅(まんだら)に描かれる仏の世界に擬しているという。火口は聖域になっていて、この峰を時計周りに巡る「お鉢めぐり」が巡礼のクライマックス。山頂から拝むご来光も神々しい。



富士山の火口

知性と感性を磨く! 春一番のステージへ

2017年4月に開講する第39期(春期)KEIBUN文化講座の受講生募集が11月からはじまりました。さまざまな分野を網羅したユニークなテーマを取り揃え、おなじみのレギュラー講師陣による18の講座がますます充実!その中から注目の講座をいくつかご紹介しましょう。

Key Point

注目講座の講師に聞く

諸国の人やモノで賑わう “道”からみえてくる近江史

京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授

水本邦彦さん

江 戸時代の近江は東海道や中山道といった主要街道からローカルな街道までいろいろな種類の道が通っていて、それが四方八方に展開していました。江戸や京都への道のように一カ所に集中し

ていくのではなく、若狭・越前・美濃・伊勢・伊賀・山城など周辺のさまざまな地域とつながり合っていて中継しながら人とモノが動いていたところが個性的で、さらに陸路と琵琶湖の舟運がセットになっているのもユニークなところですね。街道を切り口にして人々の暮らしや物流、社寺参詣など、江戸時代の近江の社会史を古文書や古絵図を読み解きながら解説していきます。
名所案内記や名所図会、屏風絵などに街道の風景を描いたものが近江には多いので、文献や絵を参照して生き生きとした当時の様子を想像してみましよう。講座のプリントを持って地元を歩いて新たな発見をしたり、司馬遼太郎をはじめとする文学に出てくる近江の道について理解を深めていただくきっかけになればと考えています。



39-02 江戸時代、近江の街道をゆく

大津会場／旧大津公会堂
各13:30~15:00

- 4月14日(金) ◆ 東海道と宿場町
- 4月28日(金) ◆ 中山道と参勤交代道中
- 5月12日(金) ◆ 朝鮮通信使と朝鮮人街道
- 5月26日(金) ◆ 北国海道と脇往還
- 6月9日(金) ◆ 往来手形と旅日記
- 6月23日(金) ◆ 西近江路と道の名前

北近江は歴史と文化の宝庫 浅井を中心にその伝統を探る

長浜市長浜城歴史博物館館長

太田浩司さん

今 回のテーマは、前回取り上げた奥琵琶湖(旧伊香郡)の南に隣接する旧東浅井郡。その名の通り、この地域は戦国大名浅井氏の本拠地であり、浅井氏を抜きにしては語れません。その一方で、東浅井郡の歴史は単なる政治史ではなく、宗教と政治が絡み合っており、複雑な人間模様を織りなしているところに特徴があります。

手腕を再評価し、そうした久政がなぜ引退させられ長政が家督を継ぐことになったのかを考えます。また、奥琵琶湖の観音信仰に比べて薬師如来や大日如来など、旧東浅井郡がパラエティーに富むのはなぜか？ 多角的な考察で湖北の奥深さに触れてみましょう。



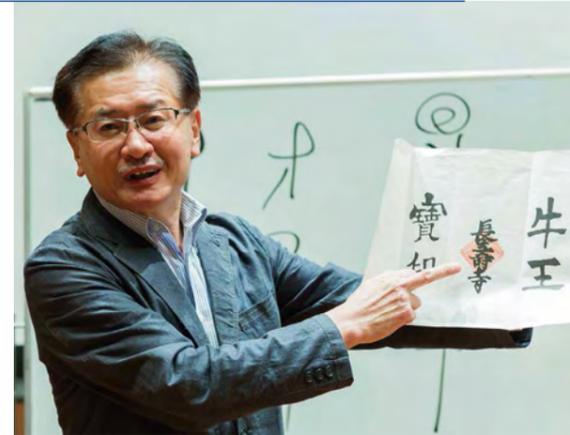
39-09 北近江の歴史と文化を探る 浅井郡編

草津会場／しがぎん草津ビル
各10:30~12:00

- 4月17日(月) ◆ 戦国大名浅井氏の盛衰(館長:太田浩司)
- 5月1日(月) ◆ 東浅井郡の仏たち(学芸員:秀平文忠)
- 5月22日(月) ◆ 小谷城と周辺史跡(学芸員:田中晶子)
- 5月29日(月) ◆ 海北友松の生涯と湖北(学芸員:大竹悦子)
- 6月12日(月) ◆ 相応和尚・元三大師と湖北の信仰(学芸員:福井智英)
- 6月26日(月) ◆ 小堀遠州と小室藩(館長:太田浩司)

滋

賀は祭りの宝庫です。非常に手間と労力がかかるのに簡略化せず、これほど忠実に形を守り伝えているところは全国でも数少ない。ただ時代を経るうちに祭りにこめられた意味を知らない人が多くなっています。例えば女の子が鍋を頭にかぶる筑摩の鍋冠祭り。その様子が非常に珍しくて意味がわからないから「近江の奇祭」と呼ばれていますが、実は当初は意味があつてやっていたこと。講座ではそうした祭りやお札、供え物の形の一つ一つに意味があることをお話しして、滋賀県のすばらしい伝統文化を再認識していただきたいと考えています。
日本人の暮らしは今も陰陽道の魔除けだらけ。昔の人は自分の周りには疫神などの悪いものがいつも浮遊していて、それに憑かれると病気になると考え、疫神がひつつかないようにと門口にお札を



百花繚乱の個性が 華開いた奇跡の世紀

大阪大学大学院教授

奥平俊六さん

日 本の絵画は個性的な画家を大勢輩出した18世紀が圧倒的におもしろい！その中でも京都は特別な場所。円山応挙、池大雅、与謝蕪村、伊藤若冲など著名な画家たちが軒を連ねるようにごく近いところに住んでいて、刺激し合いながらそれぞれにまったく違った個性を発揮していました。
なぜ18世紀の京都にこれほど個性的な画家がいたのでしょうか？ 実は、江戸時代の日本人にとって絵は身近なもので、天皇や皇族、公家から町衆に至るまでみんなが絵を描いていたのです。これは世界的にも例がありません。そのベースにあったのは狩野派の存在です。狩野派は弟子にその技法を教えて、パターンとして絵を生産していくシステムを作り上げ、やがて弟子の中から絵の私塾を開く

何を意味している？ 不思議な祭りを解説！

長浜市曳山博物館館長

中島誠一さん

貼ったりシキミを吊るしたり、たいへん賑々しい努力をされていました。そうした魔除けにこめた庶民の祈りについても解説していきます。

39-04 祭りに隠された7つのエピソード

長浜会場／長浜市曳山博物館
各13:30~15:00

- 4月7日(金) ◆ 去りゆく干支 恐怖の庚申信仰-坂本日吉大社-
- 4月21日(金) ◆ なぜ鍋を被る-米原市筑摩鍋冠祭り-
- 5月12日(金) ◆ なぜ村の入り口にジャコを吊るす-湖南市東寺修正会-
- 6月2日(金) ◆ 究極の魔除け 牛玉宝印-長浜市余呉町国安オコナイ-
- 6月30日(金) ◆ 信長も信仰した竹生島弁財天の謎-竹生島蓮華会-
- 7月14日(金) ◆ 井伊家本貫の地 湖北にオコナイがある？
-木之本町杉野&浜松市井伊谷-



人も出てきた。その一方で大寺院が復興し、町衆も絵を買う余裕が出てきて絵の需要が一気に増えて画家が不足していました。こうした時代背景を交えつつ、それぞれの画家の魅力に迫っていききたいと思います。

39-10 伊藤若冲と 18世紀の京都画壇

草津会場／しがぎん草津ビル
各10:45~12:15 ※現地学習1回含む

- 4月4日(火) ◆ 応挙・大雅・蕪村-18世紀京都画壇の枠組
- 4月18日(火) ◆ 芦雪と呉春-写生という渦
- 5月30日(火) ◆ 蕭白-画家と遊歴
- 6月6日(火) ◆ 若冲I-青物問屋の画家
- 6月20日(火) ◆ 若冲II-晩年の若冲
- 7月4日(火) ◆ -現地学習- 京都国立博物館見学

KEIBUN文化講座 2017年4月開講

第39期【春期】開講講座のご案内

受講生募集中

※お申し込みは電話、インターネット、もしくは24ページに添付の専用申込書を郵送かFAXでお送りください。

**お試し
受講OK**
初回1回のみ(無料)
各講座先着10名様
詳しくは事務局まで
お問い合わせ
ください

大津会場 旧大津公会堂 共催/株式会社まちづくり大津

39-01 すばらしい日本の伝統芸能
～歌舞伎の魅力にふれるII
京都造形芸術大学教授 田口章子 **金曜午前**

歌舞伎を観に行きたくなる、行かなくても楽しめる講座第二弾。今回は「女形」に注目します。歌舞伎が描き出す女の魅力を探ります。

開講日 各10:30～12:00
4月14日 ◆ 女形は歌舞伎の華
4月28日 ◆ 名女形の肖像
5月12日 ◆ 三島由紀夫と女形
5月26日 ◆ 歌舞伎のおんな①
6月 9日 ◆ 歌舞伎のおんな②
6月23日 ◆ 歌舞伎のおんな③



39-02 江戸時代、近江の街道をゆく
京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授 水本邦彦 **金曜午後**

近江の街道にはいつも多くの人やモノが行き交っていました。この講座では、道中日記を読み、街道を描いた絵画を眺めながら、当時の近江の道をたどります。

開講日 各13:30～15:00
4月14日 ◆ 東海道と宿場町
4月28日 ◆ 中山道と参勤交代道中
5月12日 ◆ 朝鮮通信使と朝鮮人街道
5月26日 ◆ 北国海道と脇往還
6月 9日 ◆ 往来手形と旅日記
6月23日 ◆ 西近江路と道の名前



長浜会場 長浜市曳山博物館 後援/長浜市、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団

39-03 城が語る日本の歴史
滋賀県立大学教授 中井 均 **金曜午前**

日本には現存する天守が12カ所あります。そのうち国宝に指定されている5つの天守の歴史と構造について分析します。

開講日 各10:30～12:00 ※現地学習1回含む
4月21日 ◆ 姫路城天守の歴史と構造
5月19日 ◆ 彦根城天守の歴史と構造
6月 2日 ◆ 松本城天守の歴史と構造
6月16日 ◆ 一現地学習-安土城跡
6月30日 ◆ 犬山城天守の歴史と構造
7月 7日 ◆ 松江城天守の歴史と構造



39-04 祭りに隠された7つのエピソード
長浜市曳山博物館館長 中島誠一 **金曜午後**

近江は祭りの宝庫であるが、中には行事の意味が伝わっていないものも多い。本講座では7つの祭りを取り上げ紹介するとともに、成立の謎に迫ります。

開講日 各13:30～15:00
4月 7日 ◆ 去りゆく千支 恐怖の庚申信仰-坂本日吉大社-
4月21日 ◆ なぜ鍋を被る-米原市筑摩鍋冠祭り-
5月12日 ◆ なぜ村の入り口にジャコを吊るす-湖南市東寺修正会-
6月 2日 ◆ 究極の魔除け 牛玉宝印-長浜市余浜町国安オコナイ-
6月30日 ◆ 信長も信仰した竹生島弁財天の謎-竹生島蓮華会-
7月14日 ◆ 井伊家本願の地 湖北にオコナイがある?-木之本町杉野&浜松市井伊谷-



草津会場 しがぎん草津ビル

39-05 ドイツ国民オペラの発展
-モーツァルト以後、ワーグナーに至るまで-
大阪音楽大学理事長・名誉教授 中村孝義 **火曜午後**

ベートーヴェンの「フィデリオ」やウェーバーの「魔弾の射手」を中心に、豊富な話題を交えてモーツァルトからワーグナーに至るドイツ国民オペラの歴史を俯瞰します。

開講日 各13:30～15:00
4月18日 ◆ ベートーヴェンの「フィデリオ」①
5月16日 ◆ ベートーヴェンの「フィデリオ」②
5月30日 ◆ ウェーバーの「魔弾の射手」①
6月13日 ◆ ウェーバーの「魔弾の射手」②
6月27日 ◆ ドイツ・ビーダーマイヤー期のオペラ①シューベルト、ロルツィング
7月11日 ◆ ドイツ・ビーダーマイヤー期のオペラ②ニコライ、フロト



39-06 『音楽の招待席』天才たちの奇蹟にせまる120分!
決定版 名曲手帖その②
作家・音楽評論家 響 敏也 **木曜午後**

遙かな時を超えて地球に鳴り響いてきた歴史的傑作とされる名曲を選び、「1回に1曲」の贅沢な時間で名曲の秘密を徹底解剖して魅力の根源に迫ります。

開講日 各13:30～15:30 ※現地学習1回含む
4月 6日 ◆ カノンとは何か?パッヘルベルのカノンに迫る!
4月20日 ◆ フーガとは何か?バッハに立ち向かう
5月18日 ◆ トルコの軍楽とは何か!トルコ行進曲を調査する!
6月 1日 ◆ エロイカとは何か?ベートーヴェン第3交響曲を知る!
6月15日 ◆ ファンタジーとは何か?ベルリオーズ幻想を分解する!
日程未定 ◆ 一現地学習-特別コンサート体験(未定)



39-07 歴史にみるイスラム世界とヨーロッパ
京都外国語大学教授 堀川 徹 **金曜午前**

イスラム過激派のテロやヨーロッパへ押し寄せる難民は国際社会の大きな問題です。その原因を第二次世界大戦後の歴史に焦点を当てて探っていきます。

開講日 各10:30～12:00
4月 7日 ◆ パレスチナ紛争と東西冷戦構造
4月21日 ◆ アラブ民族主義とムスリム同胞団
5月12日 ◆ 西ドイツの経済復興とトルコ人移民
5月19日 ◆ イラン・イスラム共和国の革命理論
6月 2日 ◆ ソ連のアフガニスタン侵襲と聖戦の戦士
6月16日 ◆ デンマークのムハンマド風刺画問題



39-08 成安造形大学提携講座 西洋美術史入門
成安造形大学教授 千速敏男 **水曜午前**

世界の代表的な美術館が所蔵する作品を中心に西洋美術史をたどります。また、名品をもつ隠れた美術館にも訪れてみましょう。

開講日 各10:30～12:00
4月12日 ◆ サントペテルブルクのエルミターージュ美術館
5月10日 ◆ サントペテルブルクとモスクワの美術館
5月17日 ◆ ワシントンD.C.のナショナル・ギャラリー
6月 7日 ◆ ワシントンD.C.の美術館
6月21日 ◆ ナポリの美術館
7月 5日 ◆ ブリュッセルの美術館



※講師の都合で講座日程が変更になる場合があります。ご了承ください。

Key Point 注目講座の講師に聞く

日 本はいかにして近代化を果たしたのか?この問題は徳川幕府十五代を抜きにしては語れません。これまで一般的に、日本の近代化は徳川幕府が終わってから始まった、明治政府の文明開

日本の近代化の源 徳川幕府260年に迫る!

国際日本文化研究センター名誉教授

笠谷和比古さん



39-14 徳川政権十五代 -徳川社会と日本の近代化-

草津会場/しがぎん草津ビル
各13:30～15:00

- 講座内容**
- 4月13日(木) ◆ 関ヶ原合戦と徳川幕府の成立
 - 4月27日(木) ◆ 大坂の陣と幕藩体制の確立
 - 5月11日(木) ◆ 秀忠政権と朝幕政権の推移
 - 5月25日(木) ◆ 家光政権と鎖国・参勤交代
 - 6月 8日(木) ◆ 家綱政権と徳川社会の発展
 - 6月22日(木) ◆ 綱吉政権と元禄文化

なぜそのような近代化に向けたパワーが江戸時代に生まれたのでしょうか?今回の講座では、その背景にある260年続いた徳川幕府の前半を解き明かします。

化によるものとされてきました。また薩英戦争や下関砲撃事件は惨敗だったといわれてきましたが、これには大きな疑問が残ります!ペリーが来航した時、日本は世界情勢を分析してヨーロッパの最新式軍事技術をす取り取り入れていました。その根底にあったのは18世紀の知識のインフラなのです。欧米列強と接触した時に、植民地にならずに独立を保ち資本主義的経済発展と政治的近代化の道を歩んだ日本。これは徳川のサムライたちの偉業であり、日本の近代化の根源は徳川の社会の中にあると考えるべきです。

科学的なアプローチで 植物の不思議に分け入る

甲南大学特別客員教授

田中修さん

中 国のことわざで「一晩楽しむならお酒を飲んだらいい、一週間楽しむなら豚一頭を殺して宴を開いたらいい、一生楽しむためには庭師になりなさい」といわれるように、植物に興味を持つことで日々新しい発見も喜びも

感動も味わえます。尽きることはない植物の魅力に目を向ければ、一生でも足りないくらいにさまざまなことが感じられます。植物は食料・健康・環境・エネルギーの源であり、生活や文化の素材。これまでの講座で語り尽くせなかった話題がまだまだあります。植物の基本的な性質や仕組みを簡単に復習しつつ、新たな知見や季節の植物、旬の野菜や果物を織り交ぜながら、植物が持つ不思議な力を科学的な面からわかりやすく解説していきます。さらに、CMで流れた「トウモロコシの実はず偶数」は本当なのか、タマネギで涙が出るメカニズムでイグノーベル賞を受賞した研究など、いま注目のトピックスも盛り込み話題豊富に展開します。

39-16 植物たちが魅せる世界

草津会場/しがぎん草津ビル
各10:30～12:00

- 講座内容**
- 4月 6日(木) ◆ 植物の身を守るしくみと工夫
 - 4月20日(木) ◆ 花と緑の勉強室
 - 5月11日(木) ◆ 植物の七不思議
 - 5月25日(木) ◆ 植物の生きる力
 - 6月 8日(木) ◆ 植物の解体新書
 - 6月22日(木) ◆ 植物のトピックス

39-09

北近江の歴史と文化を探る・浅井郡編

長浜市長浜城歴史博物館館長 太田浩司 他

月曜
午前

戦国大名浅井氏の本拠地でもあった東浅井郡は奥深い歴史に満ちています。この東浅井郡の歴史と文化を長浜市の学芸員がリレーで紹介します。

開講日 各10:30~12:00

- 4月17日 ◆戦国大名浅井氏の盛衰(館長:太田浩司)
- 5月 1日 ◆東浅井郡の仏たち(学芸員:秀平文忠)
- 5月22日 ◆小谷城と周辺史跡(学芸員:田中晶子)
- 5月29日 ◆海北友松の生涯と湖北(学芸員:大竹悦子)
- 6月12日 ◆相応和尚・元三大師と湖北の信仰(学芸員:福井智英)
- 6月26日 ◆小堀遠州と小室藩(館長:太田浩司)



39-10

伊藤若冲と18世紀の京都画壇

大阪大学大学院教授 奥平俊六

火曜
午前

18世紀の京都、その中心部に個性豊かな画家たちが軒を連ねるように住んでいました。応挙、大雅、蕪村、呉春、若冲、蕭白、芦雪などの魅力に迫ります。

開講日 各10:45~12:15 ※現地学習1回含む

- 4月 4日 ◆応挙・大雅・蕪村-18世紀京都画壇の粹組
- 4月18日 ◆芦雪と呉春-写生という渦
- 5月30日 ◆蕭白-画家と遊歴
- 6月 6日 ◆若冲I-青物問屋の画家
- 6月20日 ◆若冲II-晩年の若冲
- 7月 4日 ◆-現地学習- 京都国立博物館見学



39-11

日めくり万葉集入門

高岡市万葉歴史館館長・奈良女子大学名誉教授 坂本信幸

月曜
午後

NHK「日めくり万葉集」に採り上げられた歌を、平易な解説で読んでゆきます。今期は巻8の冬の歌から巻9の歌に読み進めます。初心者でも楽しむことができる講座です。

開講日 各14:00~15:30

- 4月10日 ◆「我がやどの 冬木の上に 降る雪を」(8・一六四五)408回 森陽香
- 4月24日 ◆「酒坏に 梅の花浮かべ」(8・一六五六)453回 林静一
- 5月 8日 ◆「沫雪の 消ぬべきものを」(8・一六六二)397回 古新舞
- 5月22日 ◆「巨椋の 入江響むなり」(9・一六九九)463回 李成市
- 6月12日 ◆「落ち激ち 流るる水の」(9・一七一四)278回 柿沼康二
- 6月26日 ◆「水江の 浦島子が」(9・一七四〇)262回 季里



39-12

源氏物語のこぼれ心

京都橘大学教授 福嶋昭治

火曜
午後

「源氏物語」は、現代の私たちにも通じる「心」が適切な「こぼれ」で表現されています。物語の流れを追いつつ、その「こぼれ」と「心」を味わいましょう。

開講日 各10:30~12:00

- 4月11日 ◆総角その4 ~匂宮の紅葉狩り~
- 4月25日 ◆総角その5 ~大君の逝去~
- 5月 9日 ◆早蕨その1 ~宇治の春~
- 5月23日 ◆早蕨その2 ~中の君、京へ~
- 6月13日 ◆宿木その1 ~薫の縁談~
- 6月27日 ◆宿木その2 ~匂宮の婚約~



39-13

文学を通してみる近江の風景

旅行作家 西本柳枝

火曜
午後

近江と関わりのある文学作品をきっかけに作家や作品をひもとき、近江の魅力ある風景、風土を再認識します。現地学習で物語に思いを馳せる講座です。

開講日 各13:30~15:00 ※現地学習1回含む

- 4月11日 ◆近江の文学的風土
- 4月25日 ◆島崎藤村「眼鏡」(童話)
- 5月 9日 ◆白洲正子「近江山河抄」より~あかねさす紫野~
- 5月23日 ◆-現地学習- 龍王寺・観音寺(竜王町)
- 6月 6日 ◆小金井喜美子「森鷗外の系族」
- 6月20日 ◆黒岩重吾「北風に起つ」



39-14

徳川政権十五代-徳川社会と日本の近代化-

国際日本文化研究センター名誉教授 笠谷和比古

木曜
午後

日本の近代化は江戸時代に始まった!?欧米列強に伍する力を徳川社会はいかに形成したのか。徳川将軍15代(前半)の足跡を新資料をもとに再構築していきます。

開講日 各13:30~15:00

- 4月13日 ◆関ヶ原合戦と徳川幕府の成立
- 4月27日 ◆大坂の陣と幕藩体制の確立
- 5月11日 ◆秀忠政権と朝幕政権の推移
- 5月25日 ◆家光政権と鎖国・参勤交代
- 6月 8日 ◆家綱政権と徳川社会の発展
- 6月22日 ◆綱吉政権と元禄文化



39-15

発掘された飛鳥の古墳と被葬者

滋賀大学名誉教授 小笠原好彦

水曜
午後

7世紀に都が置かれた飛鳥の南半部には高松塚古墳をはじめとする著名な古墳があります。発掘資料と文献をもとに、飛鳥の古墳の被葬者を考えてみます。

開講日 各13:30~15:00 ※現地学習1回含む

- 4月12日 ◆都塚古墳の発掘と被葬者像
- 4月19日 ◆萱浦池古墳の二つの石棺と被葬者
- 5月10日 ◆束明神古墳の発掘と被葬者
- 6月 7日 ◆中尾山古墳・キトラ古墳の発掘と被葬者
- 6月21日 ◆高松塚古墳の発掘と被葬者
- 7月12日 ◆-現地学習- 束明神古墳・マルコ山古墳・キトラ古墳・高松塚古墳



39-16

植物たちが魅せる世界

甲南大学特別客員教授 田中 修

木曜
午後

「花と緑のふしぎ」「花と緑の魅力」「植物の不思議なパワー」で語れなかった、植物の「ふしぎ」や「魅力」「パワー」を、最近の話題も含めて紹介します。

開講日 各10:30~12:00

- 4月 6日 ◆植物の身を守るしくみと工夫
- 4月20日 ◆花と緑の勉強室
- 5月11日 ◆植物の七不思議
- 5月25日 ◆植物の生きる力
- 6月 8日 ◆植物の解体新書
- 6月22日 ◆植物のトピックス



39-17

初めての日本画 入門編

日本画家 清水 豊

39-18 日本画を楽しむ 上達編

水曜

日本画特有の素材、技法がわかりやすく学べる講座です。6回のコースで作品を仕上げます。「入門編」と「上達編」、習熟度に応じて2つのクラスから選べます。

開講日 入門編/各10:00~12:30 上達編/各13:30~16:00

- 4月 5日 ◆画材の説明と写生
- 4月26日 ◆転写・線描き・下塗り
- 5月24日 ◆下塗り
- 5月31日 ◆中塗り・混色・重ね塗り
- 6月14日 ◆仕上げ
- 6月28日 ◆作品講評
- ◆小下絵、草稿について
- ◆胡粉・水干絵具の使い方、水張り
- ◆岩絵具、箔の使い方
- ◆空間表現について
- ◆仕上げ
- ◆作品講評



●受講料/ 1講座全6回で10,800円(税込。入会金不要)

※現地学習には別途参加費が必要です。
※「初めての日本画」「日本画を楽しむ」は画材費(約10,000円)別途必要。

●特典/ 滋賀銀行年金受給者の方は受講料金が9,800円となります。また、KEIBUN友の会会員の方は、「3,000円相当の割引」がご利用いただけます。ただし、各割引の併用はできません。

※原則、定員50名になりしだい締め切ります。お早めにお申し込みください。

受講申込受付 しがぎん経済文化センター文化講座事務局
TEL.077(526)0011

※講師の都合で講座日程が変更になる場合があります。ご了承ください。

特別
文化講座
(3月開講)

38-18

スマホで簡単、素敵な写真
ワンランク上のスマートフォン写真講座

●講師/ やまぐち千予(フリーカメラマン・デジタルハリウッド非常勤講師)

2017年3月8日(水)、15日(水)、22日(水) 3回シリーズ

※詳細は16ページをご覧ください

●会場/ しがぎん草津ビル ●受講料/ 6,480円(税込) ※年金受給者割引はございません